



# LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成 26 年 9 月号



## 今月のオススメ📖

《Nのために》 著者： 湊 かなえ

### 10月から連続ドラマスタート！！ 主演：榮倉 奈々

屈折とトラウマから生まれた究極の“愛” それは“罪”の共有 それぞれの“N”に対する想いとは—  
人気ベストセラー作家の湊かなえが描いた切なさに満ちた純愛ミステリー。  
原作の「Nのために」は、第29回小説推理新人賞（2007年）を受賞。

大学生の希美は、成瀬、望、西崎と“ある計画”を立てたことで、野口夫妻殺人事件の現場に居合わせてしまう。その場で西崎が逮捕され自供から懲役10年が言い渡される。その10年後、この事件の判決に疑いを抱く元警察官の高野は、事件の真相を追い始める。事件の発端は15年前の夏、瀬戸内海に浮かぶ島で、希美と成瀬が起こした“とある事件”からすべてが始まる。「彼らはあの時、罪を犯した。それぞれのNのために」登場人物たちに共通する、イニシャル「N」Nたちはどのように出会い、誰を愛し、どんな罪を犯したのか—現在と過去を交錯させながら、事件の真実を明らかにしていく。



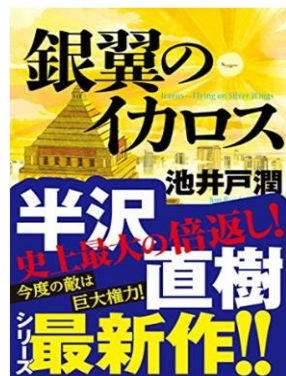
## 新刊案内😊

《銀翼のイカロス》 著者：池井戸 潤

### 半沢直樹シリーズ第4弾&最新作！

頭取命令で経営再建中の帝国航空を押し付けられた東京中央銀行の半沢直樹が、500億円もの債権放棄を求める再生タスクフォースと激突する。政治家との対立、立ちちはだかる宿敵、行内の派閥争い。半沢に勝ち目はあるのか—

池井戸潤さんは7年間都市銀行に勤務していたとか……。その経験が半沢直樹シリーズに活かされているのですね。



《春の庭》 著者：柴崎 友香【今年度芥川賞受賞作】

元美容師の太郎は、世田谷にある取り壊し寸前の古いアパートに引っ越してきた。ある時、同じアパートに住む女が、塀を乗り越え、隣の家の敷地に侵入しようとしているのを目撃する。注意しようと呼び止めたところ、太郎は女から意外な動機を聞かされる…。いつもの街の中に、気づかなかった「時間の流れ」や「暮らしの歓び」が浮かび上がる。

柴崎友香さんは小学校4年生の国語の教科書に載っていたジャン・コクトーの詩に衝撃を受けたそうです。その詩を紹介します。

☆シャボン玉

『シャボン玉の中へは 庭は入れません まわりをくるくる廻っています』

ジャン・コクトー（堀口大学訳）



# 文学賞

## あくたがわりゅうのすけ なおきさんじゅうご ～芥川龍之介賞・直木三十五賞ってなあに?!～



### 《通称“芥川賞”》

純文学の新人に与えられる文学賞。文藝春秋社内の日本文学振興会によって選考が行われ、賞が授与される。1935年直木賞とともに設立された。選考会は年2回、7月中旬(上半期)と1月中旬(下半期)行われる。中・短編作品が対象とされていますが、直木賞との境界はちょっと曖昧なところもあるようです。

### 《通称“直木賞”》

無名・新人及び中堅作家による大衆小説作品に与えられる文学賞。かつては芥川賞と同じく無名・新人作家に対する賞であったが、現在では中堅作家が主な対象とされていてベテランが受賞することも多い。そのためか、選考(候補)を辞退する事例も起きているそうです。

余談ですが、直木三十五は脚本家、映画監督でもあったそうです。また、三十五とは年齢が元となっており、三十一・三十二・三十三・三十四のペンネームを使っていたこともあるそうです。

### 太宰治も村上春樹も芥川賞落選ってホント???

太宰治は、第1回芥川賞にノミネートされましたが落選しています。ここ数年ノーベル文学賞を受賞するのではないか?と話題になっている村上春樹さんも2度ノミネートされていますが、受賞はしていません。

♥柴崎 友香氏 『春の庭』で2014年第151回芥川龍之介賞受賞

♥池井戸 潤氏 『下町ロケット』で2011年第145回直木三十五賞受賞

## 図書委員会からのお願い♪



図書委員会では団体企画として「古本市」を行います。

皆さんの家で眠っている本はありませんか? 不要になった本がありましたらご寄付ください。ご協力よろしく願いいたします。

### <ご寄付いただく本について>

1. 受付場所 図書館(南校舎2F) 司書の吉田茉耶先生まで
2. 受付期間 10月1日(水)～10月17日(金) 8:50～16:30まで
3. 本の種類 雑誌を除く書籍。漫画の単行本は可  
※状態の良いものをお願いいたします。



待ってま～す!

